

## 文献

1. Haley RW, Culver DH, White JW, et al. The efficacy of infection surveillance and control programs in preventing nosocomial infections in US hospitals. *Am J Epidemiol* 1985;121:182-205.
2. O'Boyle C, Jackson M, Henly SJ. Staffing requirements for infection control programs in US health care facilities: Delphi project. *Am J Infect Control* 2002;30:321-33.
3. Stevenson KB, Murphy CL, Samore MH, et al. Assessing the status of infection control programs in small rural hospitals in the western United States. *Am J Infect Control*. 2004 ;32:255-61.
4. P.J. van den Broek, J.A.J.W. Kluytmans, L.C. Ummels, T et al. How many infection control staff do we need in hospitals?, *Journal of Hospital Infection* 2007;65(2):108-111.
5. 小林寛伊. 施設内指針遵守の為にチェックリストの改善と質向上. *厚生労働科学研究 医療現場における安全性(感染制御策)の質向上をはかるための総合的研究 平成22年度総括研究報告書*. 東京: 幸書房 2011.
6. 小林寛伊, 中田諭. インфекション・コントロール・ナース業務必要時間. *医療関連感染* 2011, 4 :25-29.

表 1. 第一次調査

感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査 (一次調査)

このたび、感染管理認定看護師の方々を対象に、ICN の必要人数を算出することを目的として「感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査」を実施しております。本調査結果は、今後の日本の感染制御の質やあり方に資するものであり、厚生労働省への報告 (厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」主任研究者 小林寛伊 H23-医療 - 一般 - 005)、および、関連学会へ発表、学会誌へ投稿等を予定しております。調査は、web 上のフォームから回答する形式で、この一次調査 (入力時間 5 分程度) の回答返信の後、二次調査 (施設背景: 入力時間 20 分程度)、三次調査 (ICN 活動時間: 入力時間 30 分程度) の案内をメールで送付します。調査の回答にあたってメールアドレスの入力をお願いしますが、メールアドレス等は個人情報として本研究以外に使用いたしません。また、データは氏名や施設が特定されない形式で統計的に取り扱います。調査依頼の同意は、Web フォーム上で行ない、フォームへの入力は全て任意とし、回答後の変更および中止、削除も可能です。

何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

回答期限 2012 年 5 月 9 日 (水) → 5 月 18 日 (金) まで延長しました。

研究責任者 中田 諭

共同研究者 吉田理香 黒須一見

問い合わせ

東京医療保健大学大学院 感染制御学博士課程

中田 諭 satoshi.nakata.thcu@gmail.com

調査の同意

フォームへの入力全て任意とし、途中で中止することや回答後の変更および削除が可能です。また、回答によって協力者個人や所属施設の特定や不利益が生じることがないように、データ管理と処理を行ないます。

一次調査において、取得したメールアドレスは、本研究以外の利用はせず、研究終了時にデータを削除します。

データの集計は、個人や施設が特定されない形式で処理を行い、必要のないデータは速やかに削除いたします。

●本調査に同意いただけますか？

同意する  同意しない

以降は「同意する」と回答した方のみ回答ください。

質問数は 5 問です。

(質問2から5は、質問1で「病院」「診療所」「福祉施設」と回答した方のみ回答ください)

現在、勤務している病院（勤務をしていない方は以前勤務していた施設）についてお聞かせください。

質問1. あなたの勤務先の施設を入力してください。

病院  診療所  福祉施設  教育機関  休職中  その他

質問2. あなたの勤務する施設の病床数は？ 病床数の数字を入力してください。

\_\_\_\_\_ 床

質問3. あなたの勤務する施設には何人のICN（感染管理認定看護師）が勤務していますか？ 人数を数字で入力してください。

\_\_\_\_\_ 人

質問4. あなたの勤務する施設にはあなたを含め何人の感染管理認定看護師が必要だと思いますか？

必要人数を数字で入力してください。

\_\_\_\_\_ 人

質問5. あなたは自施設の感染制御をどのように評価しますか？10段階で回答ください。 十分な感染制御対策がとられているを10 全く感染制御対策がとられていないを0として、あなたが考える数字を入力してください。

\_\_\_\_\_

一次調査はこれで終了です。 あなたの質問の回答と二次・三次調査の案内メールを送付します。 PCメールアドレスを入力ください。(半角文字で入力してください) (確認のため再入力)

下の入力確認ボタンをクリックし、プレビュー画面の回答ボタンのクリックをしてください。

※送信後5分以内に入力したアドレス宛てにあなたの回答と二次・三次調査の案内メールが届きます。

(メールが届かない場合はお手数ですが[こちら](#)まで連絡ください)

引き続き二次三次調査よろしくお願ひいたします。

ご協力誠にありがとうございました。

## 表 2. 第二次調査

### 感染管理認定看護師（ICN）の必要人数に関する調査（二次調査）

このたび、感染管理認定看護師の方々を対象に、ICN の必要人数を算出することを目的として「感染管理認定看護師（ICN）の必要人数に関する調査」を実施しております。本調査結果は、今後の日本の感染制御の質やあり方に資するものであり、厚生労働省への報告（厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」主任研究者 小林寛伊 H23-医療 - 一般 - 005）、および、関連学会へ発表、学会誌へ投稿等を予定しております。調査は、web 上のフォームから回答する形式で、一次調査（入力時間 5 分程度）の回答返信の後、二次調査（施設背景：入力時間 20 分程度）、三次調査（ICN 活動時間：入力時間 30 分程度）の案内をメールで送付します。調査の回答にあたってメールアドレスの入力をお願いしますが、メールアドレス等は個人情報として本研究以外に使用いたしません。また、データは氏名や施設が特定されない形式で統計的に取り扱います。調査依頼の同意は、Web フォーム上で行ない、フォームへの入力は全て任意とし、回答後の変更および中止、削除も可能です。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

回答期限 2012 年 5 月 9 日（水）→5 月 18 日（金）まで延長しました。

研究責任者 中田 諭

共同研究者 吉田理香 黒須一見

問い合わせ

東京医療保健大学大学院 感染制御学博士課程

中田 諭 [satoshi.nakata.thcu@gmail.com](mailto:satoshi.nakata.thcu@gmail.com)

### 調査の同意

フォームへの入力は全て任意とし、途中で中止することや回答後の変更および削除が可能です。また、回答によって協力者個人や所属施設の特定や不利益が生じることがないように、データ管理と処理を行います。

一次調査において、取得したメールアドレスは、本研究以外の利用はせず、研究終了時にデータを削除します。

データの集計は、個人や施設が特定されない形式で処理を行い、必要のないデータは速やかに削除いたします。

●本調査に同意いただけますか？

同意する 同意しない

以降は「同意する」と回答した方のみ回答ください。

質問数は 20 問です。

●一次調査の回答メールに記載されているあなたの6ケタのキー番号を入力してください。 ※番号が不明の場合は問い合わせのメールに連絡をください。

あなたが現在勤務している（もしくは以前勤務していた）施設について回答してください。

1. 施設の設置主体

独立行政法人国立病院機構 国立大学病院 都道府県・市町村 地方独立行政法人 日本赤十字社 済生会 厚生連 社会保険関係団体 公益法人 私立学校法人 医療法人 社会福祉法人 その他の法人 個人 その他

2. 特定機能病院の有無

有 無 その他

3. 救急指定病院（複数選択可）

初期（一次）救急 二次救急 三次救急 その他

4. 年間救急患者数

\_\_\_\_\_名

5. 施設の病床数について回答してください。 ※該当病床のない場合は0を入力

施設稼働病床数 \_\_\_\_\_床

ICU 部門（集中治療室：救急・外科系・内科系含む）合計病床数 \_\_\_\_\_床

ハイケアユニット病床 \_\_\_\_\_床

脳卒中ケアユニット病床数 \_\_\_\_\_床

NICU（新生児集中治療室）病床数 \_\_\_\_\_床

6. 年間の手術件数について回答してください。

※該当手術がない場合は0を入力 年間手術件数 件

心臓外科手術件数 \_\_\_\_\_件

脳神経外科手術件数 \_\_\_\_\_件

眼科手術件数 \_\_\_\_\_件

7. 施設平均在院日数 \_\_\_\_\_日

8. 施設平均外来受診患者数 \_\_\_\_\_名

9. 医療安全対策加算の有無

有：医療安全対策加算1 有：医療安全対策加算2 無 その他

10. 感染防止対策加算の有無

有：感染防止加算1 有：感染防止加算2 無 その他

11. 感染防止対策地域連携加算の予定の

有 無 予定あり 予定なし 不明 その他

12. 勤務施設の職員構成について回答してください。 ※不在の場合は0を入力

常勤医師 \_\_\_\_\_人

非常勤医師 \_\_\_\_\_人  
常勤看護師 \_\_\_\_\_人  
非常勤看護師 \_\_\_\_\_人  
薬剤師 \_\_\_\_\_人  
臨床検査技師 \_\_\_\_\_人  
臨床工学技士 \_\_\_\_\_人  
第1種滅菌技士 \_\_\_\_\_人  
第2種滅菌技士 \_\_\_\_\_人

13. ICNの人数（施設全体）について回答してください。 ※不在の場合は0を入力

専従ICNの人数 \_\_\_\_\_人  
専任ICNの人数 \_\_\_\_\_人

14. 感染対策チームの有無

有 無

15. 感染対策チームの構成メンバー職種と人数について回答してください。 ※不在の場合は0を入力

医師（ICD） \_\_\_\_\_人  
医師（ICD以外） \_\_\_\_\_人  
看護師（ICN） \_\_\_\_\_人  
看護師（ICS） \_\_\_\_\_人  
看護師（ICN・ICS以外） \_\_\_\_\_人  
薬剤師（BCICPS） \_\_\_\_\_人  
薬剤師（BCICPS・BCPIC以外） \_\_\_\_\_人  
臨床検査技師（ICMT） \_\_\_\_\_人  
臨床検査技師（ICMT以外） \_\_\_\_\_人  
栄養士 \_\_\_\_\_人  
事務部門 \_\_\_\_\_人

その他（具体的な職種と人数を入力）

16. 感染制御チームによる定期的な院内ラウンドの有無

有 無 その他

17. 院内ラウンドの頻度

毎日 1回/週 2回/週 1回/月 2回/月 1回/年 2回/年 3回/年 4回/年 6回/年 不定期  
その他

18. サーベイランスの実施（複数選択可）

VAP BSI UTI SSI その他（具体的に入力）

19. 中央材料室業務について聞かせてください

- 全て施設内で実施 概ね施設内で実施 半分程度外部委託 概ね外部委託 全て外部委託  
その他

20. あなたについて回答してください。

配属部署

- 看護部 安全管理(対策)室 手術室 ICU・CCU・NICU部門 HCU部門 病棟 その他

職位

- 看護部長 副看護部長 看護師長 副看護師長 主任 スタッフナース その他

感染管理業務

- 専従 専任 その他

看護師経験年数 \_\_\_\_\_ 年目

ICN 経験年数 \_\_\_\_\_ 年目

感染管理専任経験年数 \_\_\_\_\_ 年目

下の入力確認ボタンをクリックし、プレビュー画面の回答ボタンのクリックで二次調査は終了です。

引き続き三次調査(こちら)の回答もよろしく申し上げます。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

### 表 3. 第三次調査

#### 感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査 (三次調査)

このたび、感染管理認定看護師の方々を対象に、ICN の必要人数を算出することを目的として「感染管理認定看護師 (ICN) の必要人数に関する調査」を実施しております。本調査結果は、今後の日本の感染制御の質やあり方に資するものであり、厚生労働省への報告 (厚生労働省 地域医療基盤開発推進研究事業 「中小医療施設における感染制御策の質向上を目指す支援体制についての研究」主任研究者 小林寛伊 H23-医療 - 一般 - 005)、および、関連学会へ発表、学会誌へ投稿等を予定しております。調査は、web 上のフォームから回答する形式で、一次調査 (入力時間 5 分程度) の回答返信の後、二次調査 (施設背景: 入力時間 20 分程度)、三次調査 (ICN 活動時間: 入力時間 30 分程度) の案内をメールで送付します。調査の回答にあたってメールアドレスの入力をお願いしますが、メールアドレス等は個人情報として本研究以外に使用いたしません。また、データは氏名や施設が特定されない形式で統計的に取り扱います。調査依頼の同意は、Web フォーム上で行ない、フォームへの入力は何れも任意とし、回答後の変更および中止、削除も可能です。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

回答期限 2012 年 5 月 9 日 (水) → 5 月 18 日 (金) まで延長しました。

研究責任者 中田 諭 共同研究者 吉田理香 黒須一見

問い合わせ

東京医療保健大学大学院 感染制御学博士課程

中田 諭 [satoshi.nakata.thcu@gmail.com](mailto:satoshi.nakata.thcu@gmail.com)

#### 調査の同意

フォームへの入力は全て任意とし、途中で中止することや回答後の変更および削除が可能です。また、回答によって協力者個人や所属施設の特定や不利益が生じることがないように、データ管理と処理を行ないます。

一次調査において、取得したメールアドレスは、本研究以外の利用はせず、研究終了時にデータを削除します。

データの集計は、個人や施設が特定されない形式で処理を行い、必要のないデータは速やかに削除いたします。

●本調査に同意いただけますか？

同意する 同意しない

以降は「同意する」と回答した方のみ回答ください。

質問数は 45 問です。

●一次調査の回答メールに記載されているあなたの 6 ケタのキー番号を入力してください。

※番号が不明の場合は問い合わせのメールに連絡をください。



あなたの勤務状況および過去1年間で感染管理業務に必要とした時間等を回答してください。

1. 2011年度年次休暇取得日数 ※年次休暇を取得して外部の感染管理関連業務行った日を除いた日数を  
入力してください。

\_\_\_\_\_日

2. 1か月あたりの平均時間外労働時間 ※超過勤務の申請の有無に関わらず所定の勤務時間以外に勤務  
を要した時間

\_\_\_\_\_時間

3. 過去1年間でアウトブレイクの対応を必要とした件数

\_\_\_\_\_件

4. あなたはICNとして必要な感染制御の活動を行なうためにさらに時間が必要であると考えますか。1  
か月あたりに必要と考える時間を入力してください。 ※1日の所定勤務時間が8時間の場合、1週間の  
勤務時間=8時間×5日=40時間、1か月の所定勤務時間は、8時間×5日×4週(28日)=160時間とし  
て入力してください。 ※必要と思わない場合は0時間と入力してください。

\_\_\_\_\_時間

5. 感染管理活動時間

あなたが過去1年間の感染制御に費やした活動時間を1か月あたりに平均した時間を入力してください。

※入力する時間は、1) 施設内の感染管理業務に要した時間(30項目)、2) 施設外の感染管理業務に要  
した時間(4項目)、3) 自己研鑽に要した時間(6項目)、4) その他の感染管理業務に要した時間(1  
項目)に分けて入力していただきたいので、まず全体の項目を確認してから入力をお願いします。

※1か月の日数は28日間(4週間)として換算

※1日の所定勤務時間が8時間の場合、1週間の勤務時間=8時間×5日=40時間、1か月の所定勤務時間  
は、8時間×5日×4週(28日)=160時間として入力してください。

※1か月あたりの活動時間が30分の場合は0.5とし、該当する活動を行っていない場合は0時間と入力  
してください。

- 1) 施設内の感染管理業務に要した時間

(1) 施設内の感染監視・評価に要した時間

a 電子情報端末によるサーベイランス \_\_\_\_\_時間

b 病棟へ出向いてのサーベイランス \_\_\_\_\_時間

c 定期的症例ラウンド/介入 \_\_\_\_\_時間

d 臨時のラウンド/介入 \_\_\_\_\_時間

e 定期的病院環境ラウンド/介入 \_\_\_\_\_時間

f 耐性菌対策業務(MRSA、MDRP、ESBLなど) \_\_\_\_\_時間

g 抗菌薬適正投与の監視 \_\_\_\_\_時間

h 消毒薬適正使用への介入 \_\_\_\_\_時間

i 中央滅菌供給部における洗浄/消毒/滅菌の適正評価 \_\_\_\_\_時間

- (2) 感染防止マニュアル・教育・指導に要した時間
- a 施設内看護師の感染制御に関わる教育 \_\_\_\_\_ 時間
  - b 施設内看護師以外の職員の感染制御に関わる教育 \_\_\_\_\_ 時間
  - c 感染制御に関わるマニュアル/プロトコール作成 \_\_\_\_\_ 時間
  - d 感染制御に関わるマニュアル/プロトコール評価 \_\_\_\_\_ 時間
  - e 感染制御に関わる情報提供/啓発活動 \_\_\_\_\_ 時間
  - f 職業感染予防対策 \_\_\_\_\_ 時間
- (3) アウトブレイク関連に要した時間
- a アウトブレイクの特定作業 \_\_\_\_\_ 時間
  - b アウトブレイクの制圧作業 \_\_\_\_\_ 時間
  - c ファシリティマネジメント \_\_\_\_\_ 時間
- (4) その他の施設内の感染制御業務（会議・連絡・調整・相談等）に要した時間
- a 感染制御に関連する委員会業務 \_\_\_\_\_ 時間
  - b 感染制御に直接関連しない委員会業務 \_\_\_\_\_ 時間
  - c 感染制御関連医師との打合せ \_\_\_\_\_ 時間
  - d 看護部内の感染制御に関わる打合せ \_\_\_\_\_ 時間
  - e その他関連職員との感染制御関連の打合せ \_\_\_\_\_ 時間
  - f 日常的定時の感染制御に関わる助言/相談 \_\_\_\_\_ 時間
  - g 臨時の感染制御に関わる助言/相談 \_\_\_\_\_ 時間
  - h 報告義務感染症対策業務（結核など） \_\_\_\_\_ 時間
  - i 感染制御に関連する統計などの事務処理 \_\_\_\_\_ 時間
  - j 感染制御に関わる記録/メモ整理 \_\_\_\_\_ 時間
  - k 感染制御に関わる報告書作成 \_\_\_\_\_ 時間
  - L 感染制御に関連する委員会等の準備時間 \_\_\_\_\_ 時間
- 2) 施設外における感染管理業務に要した時間
- a 施設外活動（地域ネットワーク・院外教育・相談等） \_\_\_\_\_ 時間
  - b 外部施設での感染制御に関わる教育/助言/相談 \_\_\_\_\_ 時間
  - c 外部一般社会への感染制御に関わる教育/助言/相談 \_\_\_\_\_ 時間
  - d その他の感染制御に関わる施設外活動 \_\_\_\_\_ 時間
- 3) 自己研鑽に要した時間
- a インターネット等による感染制御に関わる知識習得 \_\_\_\_\_ 時間
  - b 文献検索による感染制御に関わる知識習得 \_\_\_\_\_ 時間
  - c 学会・研究会等の発表準備 \_\_\_\_\_ 時間
  - d 専門誌/専門雑誌による感染制御に関わる知識習得 \_\_\_\_\_ 時間
  - e 感染制御に関わる雑誌等原稿作成 \_\_\_\_\_ 時間

f その他感染制御について考えている時間 \_\_\_\_\_ 時間

4) その他の感染管理業務に要した時間  
\_\_\_\_\_ 時間

5. その他 ICN の人数に関すること、ICN の活動時間に関すること、本研究に関することなど意見がありましたら入力ください。

下の入力確認ボタンをクリックし、プレビュー画面の回答ボタンのクリックで三次調査は終了です。  
二次調査 (こちら) の回答がお済みでない方は二次調査の入力もよろしくお願いします。  
ご協力いただき誠にありがとうございました。

表 4. 現段階での調査回答結果 (2012 年 5 月 13 日)

|  |
|--|
| <p>感染管理認定看護師登録者数 1364 名 (2011 年 10 月)</p> <p>調査依頼文発送数 1284 名</p> <p>一次調査有効回答数 522 名 (有効回答率 40.7%)</p> <p>1. 勤務先 (n=521)</p> <p>病院 517 名 (99.2%) 社会福祉施設 1 名 (0.2%) 教育機関 2 名 (0.4%) その他 1 名 (0.2%)</p> <p>2. 勤務している施設の病床数 (n=519)</p> <p>平均 446 床</p> <p>(標準偏差 225.6 中央値 404 最大値 1489 最小値 42)</p> <p>3. 勤務する施設の感染管理認定看護師数 (n=517)</p> <p>平均 1.45 名</p> <p>(標準偏差 0.68 最大値 4 最小値 1)</p> <p>4. 勤務する施設の感染管理の評価 (10 段階評価 n=520)</p> <p>平均 5.6</p> <p>(標準偏差 1.38 最大値 10 最小値 1)</p> <p>5. 勤務する施設に必要と考える感染管理認定看護師数 (n=513)</p> <p>平均 2.44 名</p> <p>(標準偏差 1.64 最大値 23 最小値 1)</p> <p>6. 病床あたりに勤務している感染管理認定看護師数</p> <p>308.5 床あたり 1 名</p> <p>7. 病床あたりに必要と考える感染管理認定看護師数</p> <p>182.5 床あたり 1 名</p> <p>※二次三次調査を含め現在調査期間中</p> |
|--|

## Ⅶ 中小医療施設地域支援ネットワーク

### 日本環境感染学会教育認定施設医療関連感染地域支援ネットワーク活動報告

小林寛伊 大久保憲 菅原えりさ 竹内千恵 吉田理香 黒須一見

#### 1. 背景

2002年7月から2003年9月にかけて8回にわたりおこなわれた厚生労働省私的諮問会議-院内感染有識者会議の答申を経て、2005年1月13日に設置された厚生労働省-院内感染対策中央会議の重要課題の1つであった“地域支援ネットワークの支援/調整”という課題を、院内感染対策中央会議の議を経て、2010年より日本環境感染学会が、学会の認定教育施設を核として担うことと成った。

#### 2. 方法

日本環境感染学会では、表1の会員向け通知を学会ホームページで公開し、併せて、表2の通知を2011年6月に認定教育施設39施設(当時の数、現在は表2の42施設)に対し郵送、感染制御地域支援ネットワークの構築を目的とした試行を義務付けた。そして、その実績を、2011年12月末日までに報告するよう依頼した。

#### 3. 結果

2011年12月末日までに報告された実績は、表4の通りである(1、2、の番号は個々の施設を示す)。回答を得たのは、10施設である。

#### 4. 考察

報告内容の集約してみると、以下のようにまとめることが出来る。

質問1)「認定教育施設を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築について」では、10施設中9施設が、新たなネットワークの構築や既存のネットワークによる研修等の取り組みを実践していた。

新たにネットワークを構築した方法としては、地域の複数の公的病院同士、近隣地域での既存の病院ネットワーク内や医師会のネットワークに新たに感染対策部門を設置した等が挙げられる。

質問2)「医療関連感染に関する質問への回答について」では、10施設中8施設が、外部の施設等からの質問に対応していた。

具体的な質問内容としては、サージカルマスクの使用方法、多剤耐性菌検出時の感染対策、血管内カテーテル由来感染予防のCDCガイドラインについて、結核患者との濃厚接触者の検診対象範囲、針刺し対策、B型肝炎ワクチン接種、リハビリテーションスタッフの実習生へのワクチン接種、清掃担当者への教育等であった。

質問3)「中小医療機関からの要望にこたえて、ICT病棟ラウンドへの参加を受け入れる」では、10施設中7施設が他の施設へのICTラウンドあるいは、自施設でのラウンドの見学受け入れを実施していた。また、未実施の施設もラウンドの実施に向けて検討中であった。

今回、やっと地域支援ネットワーク構築の窓口が見えてきた段階であるが、報告された10施設では、熱心な努力がおこなわれており、何れも十分な効果を挙げている。しかし、いまだ活動している認定教

育施設の数は少なく、これからの積極的活動が望まれていた。

このような現状ではあるが、2012年4月の診療報酬改定による感染防止加算におけるネットワーク構築の必要性が、大きな推進力と成ると確信している。

## 表1. 日本環境感染学会からのお知らせ

Last Update : 2010年10月4日

医療関連感染地域支援ネットワークの活用について

日本環境感染学会教育施設認定委員会委員長 小林 寛伊

日本環境感染学会では、一昨年より中小病院に対する感染制御のための支援活動をおこなっています。  
(下記の事項をご希望の場合には、学会員であることが必要です。)

1. 感染制御に対する相談窓口:感染制御に関する質問事項がありましたら、学会ホームページの「認定制度／資格」のサイトから質問用紙をダウンロードして、学会事務局と近隣の認定教育施設にFAXにて質問をお寄せください。認定教育施設の専門家をご質問にお答えいたします。認定教育施設はホームページに記載しています。
2. 病棟ラウンドを経験されたい場合には、近隣の認定教育施設においてICTラウンドを経験させていただくことができます。ご希望の場合には、学会事務局にお問い合わせください。
3. 主な病院感染症のアウトブレイクを迅速に特定するための手引きがあります。ご活用ください。



中小病院における主な病院感染症アウトブレイクの迅速特定 Quick Identification of Outbreaks (128KB)

4. 中小病院／診療所を対象にした医療関連感染制御策指針(ガイドライン):病院や診療所において、感染制御のために最低限守らなくてはならない事項について掲載しています。東京医療保健大学大学院のホームページの「調査」のサイトをご覧ください。

<http://thcu.ac.jp/faculty/inquiry.html>

## 表 2. 日本環境感染学会教育認定施設感染制御地域支援ネットワーク構築のお願い

平成 23 年 6 月 20 日

日本環境感染学会認定教育施設

病院

担当 先生

日本環境感染学会教育施設認定委員会

委員長 小林 寛伊

担当理事 西岡 みどり

拝啓

時下、貴院におかれましては益々ご清祥のことと拝察申し上げます。日頃は、日本環境感染学会教育施設認定制度にご協力を頂き有難うございます。

認定教育施設では、感染制御専門職等の教育研修、地域の病院および診療所等の感染制御に関する相談への対応、その他、感染制御分野の教育に関する諸問題への対処等をおこなって頂くことを目的とした制度です。

現在、39 施設が認定されていますが、本制度の主たる事業として掲げています幾つかの事項について実施を試行して頂きたくご連絡申し上げます。この結果を踏まえ、委員会で検討の上、2012 年度以降の教育認定施設の業務として追加していきたく思っております。

### <具体的に実施（試行）して頂きたい事項>

#### 1. 貴病院を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築

周辺の中小の医療機関が感染制御に関して困っている事項もしくは感染症のアウトブレイクを終息させるための相談などに対応できるネットワークを構築して頂くものです。方法は、各施設にお任せします。既存の京都、仙台、北九州の成功例でも、それぞれ独自の特徴を持っています。

地域での研修会の開催及び連絡体制の構築に対して費用が発生する場合には、日本環境感染学会教育施設認定委員会へお申し出頂きましたら検討いたします。

なお、ネットワークの対象となる周辺中小医療機関には日本環境感染学会の会員が必ずしも所属している必要はありません。

すでに、既存のネットワークに加わっている場合には、その仕組みをお示しください。

- 2011 年試行：組織作りの方法は、各施設にお任せしますので、地域におけるネットワークを至急作って下さい。

#### 2. 医療関連感染に関する質問への回答

医療機関からの質問に専門家の立場としてお答え頂くものです。医療機関からの質問を日本環境感染学会事務局にご提出頂き、教育施設認定委員会で適当な回答者を推薦して、原則として 5 日以内に e-mail にて事務局へお答え頂くものです。

質問者は日本環境感染学会のホームページから質問用紙をダウンロードして必要事項を記載の上、FAX にて学会事務局に提出します。

従来からの方式で、直接質問用紙を近隣の認定教育施設と学会事務局に FAX する方式でも構いません。

お答え下さいました専門家には質問一件当たり 5,000 円をお支払いいたします。

なお、質問者は、日本環境感染学会会員でない場合もあることをご了承ください。

- 2011 年試行：12 月までは最低 5 問の Q&A が実施されるよう、周辺医療機関に働きかけて企画実践して下さい。

### 3. 中小医療機関からの要望にこたえて、ICT 病棟ラウンドへの参加を受け入れる

ICT などの組織化が不十分で、定期的病棟ラウンドが実施できていない周辺中小医療機関からの要望にこたえて、認定教育施設における ICT ラウンドに参加してその状況を体験して頂くものです。週一回の ICT 病棟ラウンドを実施していく上で貴重な経験になるものと思われま

す。この際の対象となる周辺中小医療機関には日本環境感染学会の会員が必ずしも所属する必要はありません。

病棟ラウンドの体験を実施した認定教育施設は、実施状況を日本環境感染学会事務局にご報告をお願い致します。

少なくとも 1 年間に 2 回は実施することを認定教育施設の更新の条件の一つとすることにしたいと考えています。

- 2011 年試行：今年の場合には、12 月までに 1 回以上の協同ラウンドによる啓発を実施して下さい。

以上お示しました 3 項目につき、貴院におきまして早速実施して頂きたく思います。12 月までの実施状況を 12 月末日までに日本環境感染学会教育施設認定委員会までご報告下さい。試行ではありますが、可能な限り実施にご協力下さい。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、日本における医療関連感染制御を充実したものとしていくためにもぜひご協力をお願い申し上げます。

敬具

---

表3. 日本環境感染学会教育認定施設相談窓口一覧

2012年4月現在

| 通し<br>番号 | 認定<br>番号 | 施設名・担当者・TEL/FAX  | 認定期間              |
|----------|----------|--|-------------------|
| 1        | 200101   | 琉球大学医学部附属病院<br>担当：藤田 次郎（第一内科教授・感染対策室長）<br>TEL：098-895-1144 FAX：098-895-1414                        | 2012.4～<br>2017.3 |
| 2        | 200102   | NTT 東日本関東病院<br>担当：縣 智香子（感染対策推進室）<br>TEL：03-3448-6021 FAX：03-3448-6617                              | 2012.4～<br>2017.3 |
| 3        | 200104   | 神戸市立医療センター中央市民病院<br>担当：春田 恒和（小児科・感染症科部長）<br>立溝江三子（感染管理担当看護師）<br>TEL：078-302-4321 FAX：078-302-7537  | 2012.4～<br>2017.3 |
| 4        | 200107   | 東京大学医学部附属病院<br>担当：森屋 恭爾（感染制御部 教授）<br>TEL：03-3815-5411 FAX：03-5800-8796                             | 2012.4～<br>2017.3 |
| 5        | 200109   | 千葉大学医学部附属病院<br>担当：佐藤 武幸（感染症管理治療部・准教授）<br>TEL：043-226-7171 FAX：043-226-2663                         | 2012.4～<br>2017.3 |
| 6        | 200110   | 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター<br>担当：白阪 琢磨（免疫感染症科長）<br>谷口美由紀（感染管理認定看護師）<br>TEL：06-6942-1331 FAX：06-6943-6467 | 2012.4～<br>2017.3 |
| 7        | 200111   | 岡山大学病院<br>担当：太田 吉夫（感染制御部部長）<br>TEL：086-235-7635 FAX：086-235-7636                                   | 2012.4～<br>2017.3 |
| 8        | 200112   | 東邦大学医療センター大橋病院<br>担当：草地 信也（院内感染対策委員長）<br>TEL：03-3468-1251 FAX：03-3469-8506                         | 2012.4～<br>2017.3 |
| 9        | 200113   | 川崎医科大学附属病院<br>担当：寺田 喜平（小児科学教授・院内感染対策室）<br>TEL：086-462-1111 FAX：086-462-1199                        | 2012.4～<br>2017.3 |
| 10       | 200114   | 京都大学医学部附属病院<br>担当：一山 智（感染制御部部長）<br>TEL：075-751-4967 FAX：075-751-3758                               | 2012.4～<br>2017.3 |



|    |        |   |                   |
|----|--------|---|-------------------|
| 11 | 200116 | 慶應義塾大学病院<br>担当：岩田 敏 (感染制御センター長)<br>高野八百子 (感染制御センター 感染症看護専門看護師)<br>TEL：03-5363-3710 FAX：03-5363-3711 | 2012.4～<br>2017.3 |
| 12 | 200201 | 奈良県立医科大学附属病院<br>担当：笠原 敬 (感染症センター)<br>TEL：0744-22-3051 FAX：0744-24-9212                              | 2007.7～<br>2013.3 |
| 13 | 200202 | 大分大学医学部附属病院<br>担当：平松 和史 (感染制御部副部長)<br>TEL：097-549-4411 FAX：097-586-5439                             | 2007.7～<br>2013.3 |
| 14 | 200203 | 筑波メディカルセンター病院<br>担当：石原 弘子 (副看護部長)<br>TEL：029-851-3511 FAX：029-858-2733                              | 2007.7～<br>2013.3 |
| 15 | 200204 | 川崎医科大学附属川崎病院<br>担当：沖本 二郎 (内科部長)<br>TEL：086-225-2111 FAX：086-232-8343                                | 2007.7～<br>2013.3 |
| 16 | 200206 | 坂出市立病院<br>担当：中村 洋之 (診療部長)<br>TEL：0877-46-5131 FAX：0877-46-2377                                      | 2007.7～<br>2013.3 |
| 17 | 200301 | 下関市立市民病院<br>担当：吉田 順一 (呼吸器外科部長)<br>浅野 郁代 (看護師)<br>TEL：083-231-4111 FAX：083-224-3838                  | 2009.4～<br>2014.3 |
| 18 | 200401 | 藤枝市立総合病院<br>担当：石野 弘子 (感染対策室長)<br>TEL：054-646-1111 FAX：054-646-1122                                  | 2010.4～<br>2015.3 |
| 19 | 200403 | 浜松医科大学医学部附属病院<br>担当：前川 真人 (感染対策室長)<br>TEL：053-435-2721 FAX：053-435-2096                             | 2010.4～<br>2015.3 |
| 20 | 200405 | 福岡大学病院<br>担当：高田 徹 (感染対策医師)<br>橋本 丈代 (感染対策専任看護師)<br>TEL：092-801-1011 FAX：092-862-8200                | 2010.4～<br>2015.3 |
| 22 | 200406 | 前橋赤十字病院<br>担当：立花 節子 (感染管理室師長)<br>TEL：027-224-4585 FAX：027-243-3380                                  | 2010.4～<br>2015.3 |

|    |        |   |                   |
|----|--------|---|-------------------|
| 23 | 200408 | <p>横須賀市立うわまち病院<br/> 担当：松永敬一郎（副院長・院内感染対策委員長）<br/> 福味 禎子（内科科長）<br/> TEL：046-823-2630 FAX：046-827-1305</p>                           | 2010.4～<br>2015.3 |
| 24 | 200601 | <p>浜松医療センター<br/> 担当：矢野 邦夫（感染症科長・衛生管理室長）<br/> 葛原 健太（看護部 保健師）<br/> TEL：053-453-7111 FAX：053-452-9217</p>                            | 2012.4～<br>2017.3 |
| 25 | 200602 | <p>東京慈恵会医科大学附属病院<br/> 担当：中澤 靖（感染制御部）<br/> 近藤 和典（医療安全管理部）<br/> TEL：03-3433-1111 FAX：03-5400-1249</p>                               | 2012.4～<br>2017.3 |
| 26 | 200701 | <p>大樹会 総合病院 回生病院<br/> 担当：松本 尚（外科系診療部長）<br/> TEL：0877-46-1011 FAX：0877-45-6410</p>   | 2008.4～<br>2013.3 |
| 27 | 200702 | <p>宮城厚生協会 坂総合病院<br/> 担当：残間由美子（感染制御室室長）<br/> TEL：022-365-5175 FAX：022-367-9125</p>   | 2008.4～<br>2013.3 |
| 28 | 200801 | <p>東京労災病院<br/> 担当：戸島 洋一（感染対策委員会責任者・呼吸器内科部長）<br/> TEL：03-3742-7301 FAX：03-3744-9310</p>  | 2009.4～<br>2014.3 |
| 29 | 200802 | <p>愛知医科大学病院<br/> 担当：三嶋 廣繁（感染制御部・教授）<br/> 山岸 由佳（感染制御部・助教）<br/> 加藤由紀子（感染予防対策室・感染管理認定看護師）<br/> TEL：0561-62-3311 FAX：0561-61-1842</p> | 2010.4～<br>2015.3 |
| 30 | 200803 | <p>国立大学法人 三重大学医学部附属病院<br/> 担当：兼児 敏浩（医療安全・感染管理部副部長）<br/> TEL：059-232-1111（内線 5658） FAX：059-231-5308</p>                            | 2009.4～<br>2014.3 |
| 31 | 200804 | <p>健和会 大手町病院<br/> 担当：山口 征啓（総合診療内科部長 ICD）<br/> TEL：093-592-5511 FAX：093-592-2726</p>   | 2009.4～<br>2014.3 |
| 32 | 200901 | <p>横浜医療センター<br/> 担当：小林 慈典（小児科医長）<br/> TEL：045-851-2621 FAX：045-851-3902</p>   | 2010.4～<br>2015.3 |
| 33 | 200902 | <p>順江会 江東病院<br/> 担当：三浦 邦久（副院長）<br/> TEL：03-3685-2166 FAX：03-3685-2708</p>   | 2010.4～<br>2015.3 |

|    |        |  |                   |
|----|--------|--|-------------------|
| 34 | 201002 | 長野県立須坂病院<br>担当：中島恵利子（感染制御部）<br>TEL：026-245-1650 FAX：026-248-3240                           | 2011.4～<br>2016.3 |
| 35 | 201003 | 岩手県立久慈病院<br>担当：下沖 収（副院長・中央手術科長）<br>TEL：0194-53-6131 FAX：0194-52-2601                       | 2011.4～<br>2016.3 |
| 36 | 201102 | 金沢医科大学病院<br>担当：飯沼 由嗣（感染症科 教授）<br>TEL：076-286-2211（代）                                       | 2012.4～<br>2017.3 |
| 37 | 201103 | 小牧市民病院<br>担当：長瀬 仁（感染管理認定看護師）<br>TEL：0568-76-4131   | 2012.4～<br>2017.3 |
| 38 | 201105 | 神奈川県立こども医療センター<br>担当：鹿間 芳明（感染免疫科医長）<br>TEL：045-711-2351                                    | 2012.4～<br>2017.3 |
| 39 | 201107 | 東北大学医学部附属病院<br>担当：國島 広之（副感染管理室長）<br>TEL：022-717-7841 FAX：022-717-7842                      | 2012.4～<br>2017.3 |
| 40 | 201108 | 獨協医科大学病院<br>担当：白川 幸央（感染制御センター）<br>TEL：0282-87-2418   | 2012.4～<br>2017.3 |
| 41 | 201110 | 越谷市立病院<br>担当：新妻 隆広（診療部門小児科）<br>浦上 生美（感染管理認定看護師）<br>TEL：048-965-2221                        | 2012.4～<br>2017.3 |
| 42 | 201111 | 済生会横浜市南部病院<br>担当：甲斐 純夫（副院長・小児科部長）<br>高橋 幸子（感染管理認定看護師）<br>TEL：045-832-1111 FAX：054-832-8335 | 2012.4～<br>2017.3 |

#### 表 4. 地域支援ネットワーク事業に関し報告された実績（回答数 10）

（1、2、の番号は、各施設を示す）

- 
1.
    - 1) 認定教育施設を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築  
2006年に発足した地域感染フォーラムを中心に定期的に年2回の講演会を開催し検討を行っている
    - 2) 医療関連感染に関する質問への回答  
4病院へ働きかけを行った
    - 3) 中小医療機関からの要望にこたえて、ICT病棟ラウンドへの参加  
2011年12月他施設のICD・ICNがICT病院ラウンドに参加した
  
  2.
    - 1) 認定教育施設を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築  
2011年8月に研修会を開催：参加病院は12病院、17名だった
    - 2) 医療関連感染に関する質問への回答  
講習会時に5件の質問があった
    - 3) 中小医療機関からの要望にこたえて、ICT病棟ラウンドへの参加  
自施設において3回のICTラウンド見学会を行った
  
  3.
    - 1) 認定教育施設を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築  
地域の公的4病院を中心として2011年10月に「感染対策ネットワーク〇〇」を設立した
    - 2) 医療関連感染に関する質問への回答  
ラウンド時に質疑応答をしている
    - 3) 中小医療機関からの要望にこたえて、ICT病棟ラウンドへの参加  
2011年11月に1回、12月に2回他院からの参加でラウンドを実施した
  
  4.
    - 1) 認定教育施設を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築  
県内のネットワークに参加、活動している
    - 2) 医療関連感染に関する質問への回答  
なし
    - 3) 中小医療機関からの要望にこたえて、ICT病棟ラウンドへの参加  
2011年12月に2回ICT病棟ラウンドを行った
  
  5.
    - 1) 認定教育施設を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築  
あるセンター施設の医師、看護師、薬剤師、技師とで小児感染対策について検討会を開催した
    - 2) 医療関連感染に関する質問への回答  
外部の施設2院からの依頼で針刺し、多剤耐性菌接触感染対策について質疑応答があった  
B型肝炎ワクチン接種についての質問があった
    - 3) 中小医療機関からの要望にこたえて、ICT病棟ラウンドへの参加  
あるセンターの医師、看護師、薬剤師、技師計8人がICTラウンドに参加した
  
  6.
    - 1) 認定教育施設を中心とした医療関連感染地域支援ネットワークの構築